

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について 2020/2/17

テレビや新聞で様々な報道がありますので、この感染症について、今わかっていることをご説明します。

【感染症の原因について】

コロナウイルスというウイルスの感染症です。これまで、人に感染を起こすコロナウイルスは6種類あり、そのうち4種類は普通の風邪の原因のウイルスです。残りの2種類は、中東呼吸器症候群（MERS）、重症急性呼吸器症候群（SARS）という感染症の原因ウイルスです。今回の新型コロナウイルス感染症は7番目の新しいコロナウイルスが原因です。

【どんな症状がでるのでしょうか】

熱と咳、だるさが主な症状です。風邪に似た症状です。鼻水、くしゃみ、のどの痛み、下痢は、あまり目立ちませんが、出ることもあります。

【どのような経過でしょうか】

感染してから症状が出るまで（潜伏期間）は約1-12（多くは3-7）日間と推定されています。無症状の人から感染するかどうかは、まだわかっていません。

多くの感染した人は、普通の風邪のような症状で、特に治療しなくても1週間ほどで治るといわれています。重症になる方は少ないです。重症になる場合は、はじめに症状がでてから約1週間後に呼吸が苦しくなるなどの症状が出ます。これまでの報告では、流行している湖北省以外の中国での死亡率は0.2%、中国国外の死亡数は数名ですので、それほど怖い感染症ではないことがわかってきています。

【どのように感染するのでしょうか】

くしゃみや咳、つばなどに含まれたウイルスを、他者が口や鼻から吸い込んで感染します。（飛沫感染）また、感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他者がその物に触って、ウイルスが付いた手で口や鼻を触っても感染します。（接触感染）

【感染の予防方法】

- ・石けんによる手洗いや、アルコール消毒液などによる手指消毒をしましょう。
- ・睡眠をよくとって、体を休めましょう。
- ・咳やくしゃみなどの症状がある方は、咳エチケットをお願いします。（咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえること）





【感染力はどれくらいでしょうか】

1人の感染している人から1.4-2.5人が感染すると言われています。毎年冬に流行するインフルエンザは1-2人ですので、ちょうどインフルエンザと同じくらいの感染力です。

【検査について】

インフルエンザのように、すぐに結果の出る検査はありません。また、症状があるひと全員が検査を受ける必要はありません。詳しい検査(PCR)は、渡航歴や患者さんとの接触歴、症状や診察の所見などから、検査をするか判断、実施されます。

【重症になりやすいひと】

どのような方が肺炎など重症になりやすいか、十分に明らかではありません。通常の肺炎と同様に、高齢者や基礎疾患(糖尿病、COPDなど)のある方のリスクが高い可能性があります。

重症にならないようにするために、熱・咳・だるい症状がある時は、十分な睡眠とバランスの良い食事、水分を摂って、安静に過ごしましょう。

【こんな症状があるときは、相談ください】

「いつもの風邪よりも症状が重い」、「日常生活に支障があるほど症状が重い」などの「いつもの風邪と違う」と思う症状があるとき(例:とてもだるい、水分が取れない、咳がひどい、高熱が続くなど)は、受診前に電話でご連絡ください。

【大切なこと】

- ・基本的な手指消毒と咳エチケット、そしてバランスの良い食事と十分な睡眠で予防しましょう。
- ・軽症で治るひとが多いといわれていますが侮らず、体調が悪いときはしっかり体を休ませましょう。
- ・いつもと同じ軽い風邪症状なら自宅安静が大切です。
- ・風邪症状が長引いて高熱が続き、息苦しい、咳がひどいなど、いつもの風邪とは違うと感じたら、必ず受診してください。
- ・慌てないでください。

<電話相談もご利用ください>

○東京都の電話相談窓口(土、日、祝日含む) 電話 03-5320-4509 受付時間9時から21時まで

○足立保健所感染症対策課 電話 03-3880-5747 (平日8時30分から17時15分)

○帰国者・接触者電話相談センター(夜間)

電話 03-5320-4592 受付時間 平日:17時から翌9時まで 土日祝日:終日

<参考サイト>

- ・厚生労働省 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html#Q5